

活動名	インスパイア・ハイスクール事業 赤ちゃん先生プロジェクト	報告者	看護科
日時	令和元年5月31日(金) 9:40~10:30		
場所	看護科棟 第2看護実習室		
参加人数(所属)	外部講師(インストラクター3名、乳幼児5名、母親5名) 生徒38名、教員		
目的	子をもつ母とのふれあいを通して、育児を理解する。また、命の大切さ、女性の生き方について考える。		

赤ちゃんプロジェクトは、3回にわたり看護科3年生を対象に行われます。本日は、第1回目で「赤ちゃんを知ろう」をテーマに赤ちゃん先生(1歳から3歳の乳幼児5名)とそのお母さんたちが来校されました。



教科書では学べない本物の乳幼児と触れ合い、乳幼児の手足の小ささや柔らかさを体感しました。また、お母さんたちから生まれたばかりの赤ちゃんとの生活について教えていただきました。核家族化が進み、普段乳幼児と接する機会が少ない生徒にとって貴重な体験となり、母子の1日の生活を具体的に理解することができました。生徒は乳幼児の一举一動に「かわいい」と笑顔になっていました。「自分の小さい頃も母親がこのように世話をしてくれていたのかと思うと、改めて母親に感謝したい。」と感想がありました。母親からは「生徒さんに子育てについて色々お話しすることで、育児は大変だけれどもそれを幸せに感じていることに改めて気付くことができた」と感想をいただきました。最後は、『まあいいのち』という歌を全員で歌い赤ちゃん先生とお別れをして終了しました。

